

市内184および185例目（県内283および284例目）の概要

令和3年2月24日公表

2月23日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに2名の方、市内184及び185例目（県内283及び284例目）となる感染者が確認されました。

184及び185例目の方はともに松江市在住です。年齢・性別につきましては、いずれも本人の意向により公表を差し控えさせていただきます。

184例目の方は、2月19日に倦怠感、37度台の発熱の症状があり、市内の医療機関を受診されました。

その後、症状が改善しないため、21日に市内の別の医療機関を受診し、民間検査機関でのPCR検査の結果、22日に陽性が判明しました。

同日、当該医療機関から松江保健所へ確認のための検査について相談があり、昨日23日に島根県保健環境科学研究所で再度PCR検査を実施したところ、陽性が確認されたものです。

185例目の方は、184例目の濃厚接触者として、昨日23日にPCR検査を行った結果、陽性が判明したものです。

いずれも保健所の指導の下に自宅で待機し、本日24日、感染症対策を講じた医療機関に入院しました。

現在、184及び185例目の方はともに、のどの違和感の症状がありますが、軽症とのことです。

184例目の方は、発症日2日前、2月17日以降の感染可能期間に、市内の勤務先に出勤されていますが、不特定多数の方への接客の機会があるような仕事ではなく、聞き取り調査により接触者は把握できています。

また、発症日2週間前、2月5日以降の調査期間において、旅行や出張といったような県外への移動歴、ならびに県外から来県された方との接触歴はないとのことでした。

185例目の方は、無症状の方ですので検体採取日を発症日として捉え、2日前の2月20日以降を感染可能期間としています。

この間、市内の勤務先に出勤されていますが、不特定多数の方への接客の機会があるような仕事ではなく、聞き取り調査により接触者は把握できています。

また、発症日2週間前、2月8日以降の調査期間において、県外への移動歴、ならびに県外から来県された方との接触歴はないとのことでした。

今後も調査結果を踏まえ、必要に応じて幅広の検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

発熱・咳・鼻づまり・強い倦怠感など、風邪様の症状や花粉症のような症状は、新型コロナウイルス感染症との区別が難しいとされています。

このような体調不良時には、仕事や学校を休んでいただくことが、感染拡大の防止にもつながる大切な行動です。

また、自己判断せず、まずはかかりつけ医に事前に電話で相談のうえ受診いただき、新型コロナウイルス感染症の検査を受けるなど、万が一に備えてご対応いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。